

広報

ただみ

4

2009 月号

No. 467
平成21年4月10日

只見町民憲章
 いまなみと豊かさが流れ
 て雪のふるさと
 に生かす私たちは
 の努力をたたえ
 忍耐と創造の
 をうけ継ぎ、
 あふれる住みよい
 くりをめぐして
 憲章を定めます
 緑と水とまもり
 美しい町をつくりましよう
 助け合い親切
 しい町を
 築き、
 豊かな町を
 深め心と
 文化の町をつ
 りを守り良
 い町をつ

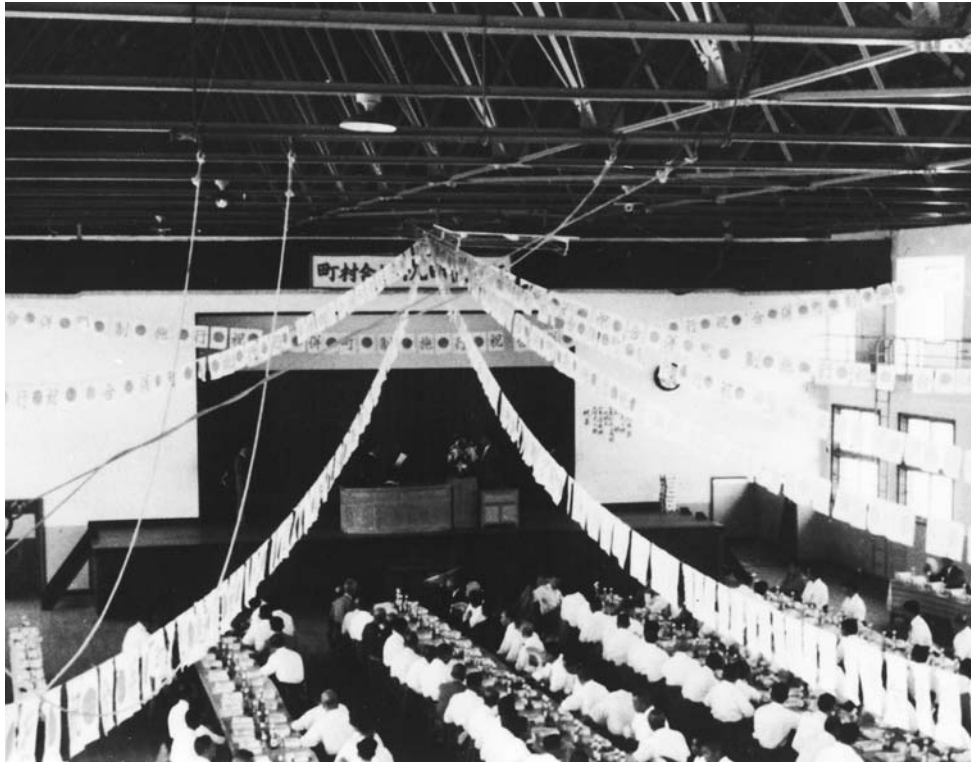


今月の表紙

4月1日から朝日診療所の常勤医師が3人体制になりました。町長室で町長から辞令交付を受けた佐竹所長(右)、星野医師(左から2番目)、高柳医師(左)。新しい地域医療体制の幕開けです。関連記事は9ページに掲載。

町制施行50周年記念事業の紹介

.....	2~3
町民文芸コンクール・町芸術文化賞・スポーツ優秀賞の表彰
.....	4~8
朝日診療所が新体制に
.....	9
平成21年度只見町予算
.....	10~11
町の話
.....	12~13



昭和34年8月1日町村合併祝賀会。この日から只見町がスタート。

町制施行50周年記念事業テーマ 「自然・人と人(君と僕)共に歩もう只見町」

6月28日(日)

健康ただみ
フォレスト
セラピー大会

季の郷湯ら里周辺

6月12日(金)

上方演芸会
(NHK公開番組)

町下体育館

昭和34年8月1日に誕生した只見町は今年、50周年を迎えます。町では50周年を祝う記念式典、記念事業を計画しています。

10月15日(木)・
16日(金)

ウィーンフィル
メンバーによる
弦楽四重奏団
コンサート

只見中学校体育館・
季の郷湯ら里

平成21年度中

小中学生による
子ども議会

只見町議会議場

8月1日(土)

記念式典・
イベント

季の郷湯ら里
(イベントは町内全域)

平成21年度中

・記念誌の発行
・町史とおきの
話刊行

11月(予定)

ごはんまつり

明和地区センターほか

10月中旬(予定)

記念植樹

町内

記念事業「上方演芸会」観覧の申込み

NHK福島放送局と只見町では、町制施行50周年を記念して、上方の漫才をたっぷりお届けするラジオ第一の人気番組「上方演芸会」の公開録音を実施します。観覧ご希望の方は、次の要領でお申込みください。

話番号、⑤観覧希望人数（4人以内）、⑥観覧者全員のお名前を記入して、NHK福島放送局までお申込みください。※応募多数の場合は抽選で人数分の入場整理券をお送りします。

【あて先】

〒960-8588

（住所不要）

NHK福島放送局

「上方演芸会」係

【応募締切】

5月18日（月）必着



暁照夫・光夫

2、会場 只見町下体育館

7、放送予定

1本目

・8月7日（金）午後9時

30分～午後9時55分

（再放送）8月15日（土）午後3時

10分～午後3時35分

2本目

・8月14日（金）午後9時

30分～午後9時55分

（再放送）8月22日（土）午後3時

10分～午後3時35分

※放送はラジオ第一全国放送。

再放送はラジオ第二全国放送

8、問い合わせ

NHK福島放送局

☎024-526-4660

（平日午前9時30分～

午後6時）

只見町総務企画課

☎82-5050

（平日午前8時30分～

午後5時15分）

9、その他

ご応募の際にいただいた情報は、NHKでは抽選結果のご連絡のほか、受信料のお願いに使用させていただくことがあります。

6、観覧申込み
郵便はがきの裏面に①郵便番号、②住所、③名前、④電

5、司会 井上善夫
（元NHKアナウンサー）

4、出演 暁照夫・光夫
今いくよ・くるよ
酒井くにお・とある
ほか

3、主催 NHK福島放送局
只見町

式典は8月1日、季の郷湯ら里で、町表彰式、町営施設落成式と併せて行われます。事業は、町制施行50周年記念事業企画運営委員会の報告内容をふまえた、NHK公開番組上方演芸会など8事業のほか、ウィーンフィルメンバーによる弦楽四重奏団のコンサートを行います。半世紀を振り返る記念誌も発行します。

また、産業文化祭、只見ふるさとの雪まつりなどに記念事業と冠し、グレードアップして開催します。

そして、これからの町づくりの指針となる町づくり条例制定にむけた調査・検討も、今年度から始めます。



酒井くにお・とある



今いくよ・くるよ



優れた成果・作品を表彰

町芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞 町民文芸コンクール表彰式

3月14日只見地区センターで、平成20年度町教育委員会芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰式と、第32回町民文芸コンクール表彰式が行われました。



「心を打つ作品がありました。」佐藤教育長

初めに芸術文化賞の4人と2団体、スポーツ優秀選手賞の8人と4団体が表彰を受けました。続いて町民文芸コンクール4部門307点の応募作品の中から審査の結果選ばれた入賞者が、表彰を受けました。今回のコンクールから小学生の部に短歌部門と俳句部門ができました。



一人ひとりに賞状が手渡された。

佐藤克彦教育長は、「雪国の自然条件の中で、スポーツや芸術活動ですばらしい成果をあげていることをうれしく思います。また文芸コンクールに幅広く応募がありよかったです。作文の部の入賞作品に心を打つ優れたものがありました」とあいさつしました。

町民文芸コンクール講評で、三宅友也文芸コンクール作文部門審査委員長は「町から山内秋生、梁取三義といった偉大な作家が出ています。また地域の中にも自叙伝や短歌、俳句を本にしている方が多くいます。それから先人の立派な作品に触れて、自信と誇りを持って自分を高めたいってほしいと思います。」と述べました。

町民文芸コンクールの特選作品を掲載します。

俳句部門

小学生の部特選



只見小1年

すがわらゆうごくん

ゆきだるま
よるになったら
あるくかな

中学校の部特選



只見中2年

五十嵐 龍さん

雪囲い
みんな楽しく
手作業だ

一般の部特選



小川

渡部 ミヤさん

やるせなし
父逝く空は
雪の乱



作文部門 小学校下学年の部特選

「お母さん」

只見小3年 酒井結咲さん



「もう。お母さんなんか、大
きらい。」
私は、お母さんとケンカをし
てしまいました。どうしてケン
カになってしまったかという
私と妹が、口ゲンカをしたから
です。お母さんは、私のことを
怒っています。私だけが怒られ
て、私も頭にきてしまいました。
私は、もういやになって、その
日は、お母さんと口もききたく
ありませんでした。

その夜は、なかなかねむれま
せんでした。そして、口をきき
たくないと思ったけれど、なる
べく早くあやまりたいとも思
いました。
目をあけると、もう朝でした。
私は、昨日のことをあやまろう
としました。

「お母さん……。」
けれど、私は、あやまること
ができませんでした。どうして
あやまれないんだろうと、何
度か心の中で思いました。

いつの間にか、学校に行く時
間になっていました。私は、あ

やまることができないまま学校
に行きました。学校に着いても
気になってじゅぎょうに、あま
り集中できませんでした。

家に帰っても同じこと。あや
まれないまま時間がすぎていき
ました。いつも食べているお母
さんの料理も、あまり味がしま
せん。私の心の中は、真っ黒で
す。でも、どうしていいか、わ
からなくなっていました。

けんかした日から、二日たち
ました。その日は、学校が三時
間目で終わったので、早く帰
りました。お店の中に入ってい
くと、お母さんが見えました。お
母さんは、あせを流しながら、
はたらいっていました。私は、お
とといのことを、お母さんにあ
やまりたい気分がいっぱいにな
りました。

「今日、お母さんにあやまろう。」
と、私は決めました。
夕方、お母さんが仕事から帰
ってきました。私は、思いきつ
て、声を出しました。
「お母さん、ごめんなさい。」

するとお母さんは、
「もう気にしてないよ。ゆうち
やん、ごめんね。」
と、言ってくれました。私は、
二日間思っていたいやなことを、
全部わすれたみたいなきもちに
なりました。お母さんは、私の
ことを見て、ニコニコわらって
いました。

よく考えてみたら、お母さん
は、私たち家族のことをよく思
っていて、家族のためにはたら
いてくれています。私や妹の世
話をたくさんしてくれま
す。ケンカをしてしまったけど、私の
ことをよく考えてくれる、やさ
しいお母さんです。

お母さん。いつも、いつも、
はたらい家族をささえてくれ
てありがとう。お母さんの子
ど、私や妹も。またケンカにな
つちやうこともあるかもしれない
けど、その時は、なるべく早く
あやまらね。
私は、その日を、わすれられ
ません。

短歌部門

小学生の部特選



只見小5年
島谷 拓実くん
こたつには
みかんが一番
「持ってきて」
家族みんなに
頼まれるぼく

中学生の部特選



只見中3年
新国 芙真恵さん
持つ傘の
雪の重みと白い息
いつ来るのかと
君を待つ冬

高校生の部特選



只見高3年
酒井 沙織さん
夏の空
入道雲が夕焼けに
照らされ二人
近づく手と手

一般の部特選



只見
目黒 ミツルさん
死期迫る
兄の介護に夜を通し
まどろめば
いつか窓白みくる



作文部門 小学校上学年の部特選

「自然首都只見に生まれて」

只見小5年 日野涼さん



森の案内人の学習会では、新

国さんという方に来ていただき、只見の自然についてお話を聞きました。絶滅が心配されている生き物の多くが、只見ではまだ見ることができているそうです。特に、海から百キロメートル以上はなれた場所では見つからないカワヤツメという魚が、世界で初めて、只見で見つかったという話は本当におどろきま

は立派なブナの原生林がすっかりと残っています。人間が住む地域からこのように近い場所でブナの原生林を見ることができるのは只見くらいだと知りました。また、只見のブナ林の面積は世界遺産となっている白神山地よりも広いことも初めて知りました。私は、只見が「自然首都只見」を宣言した意味がこの頃によく分かりました。

「自然首都只見」
私が初めてこの言葉を聞いたのは一年前でした。その時は特に気にとめることもなく、何とも思わずに聞き流していたように思います。それが、昨年から続けてきた総合的な学習を通して、この言葉の意味の重さが少しだけ分かってきたような気がしました。

今まで、自然は自分の近くにあつて当たり前存在でした。それについて深く考えることもなかったために、特に何とも思わずに生活してきました。しかしいろいろな体験や学習を通して、多くのことに気付いていたような気がしました。

まず初めに感じたのは、森林は私たち人間だけでなく、動物にとつてとても大切なものだということです。

二つ目に感じたのは、只見のすばらしさです。私たちは五年生になつてから田子倉ダム見学、森の案内人の学習会、自然林の観察会という三度の学習会を行いました。

三つ目に感じたことは、このすばらしい只見の自然を守つていかなければならないということです。只見は道路やお店が少なく必ずしも便利などころとは言えません。もう少し人間が暮らしやすいように開発した方がいいのかもしれませんが、しかしそんなことよりは、今残されている貴重な自然や只見のよさを理解し、なくさないように努力していくことが大切なのではないかと思うようになりました。

只見小学校では四年生になると、総合的な学習で自分の住む町の自然について学習し、五年生ではその内容をさらに深めます。私は昨年から今年にかけていろいろなことを学び、考えたことがありましたのでそのことについて紹介します。

森林は災害を防いだり、多くの生き物を育てたりします。只見には葉っぱの広い広葉樹という木が一面に生えています。これらの木は落葉がスポンジ状となり、たくさん雨水を吸い取つてくれます。また、きのこや

田子倉ダム見学では、豊かな只見の雪だけ水をうまく利用しながら発電しているしくみを見ってきました。重くて巨大なタービンが水の力で動いている様子を間近で見るとおどろきま

自然林の観察会ではブナのおどろくべき知恵と只見のすばらしさを学びました。ブナは保水力が高く、葉で集められた雨水を根に届けるため、樹幹流を持つているそうです。よく見ると、確かにどのブナの木にも一つのすじが通つていてブナのすごさを感じました。開発を進めていた昔は真つ先に切られていたブナのよさが見直されてきたことも知りました。ヨーロッパでは開発のために切り取られてしま

の都合で勝手に開発を進め、全てをなくしてからその大切さに気付いてもおそいと思います。

私の生まれ育つ只見町は、周囲を山に囲まれています。私の通う只見小学校もすぐ近くに山があり、季節ごとに色を変え様々な木々を見ることが出来ます。私の家は学校のすぐ裏にあるため、校庭や近くの山、川、田んぼなどで小さい頃からずっと遊んできました。だから私は

び生物のすみかとなつたり、鳥やけものなどいろいろな動物のすみかとなつたりしています。そういえば私が外で遊んでいた時に、たくさん生き物を見ました。ウグイスやキビタキなどの鳥の仲間をはじめ、イタチやタヌキ、カモシカなど様々な

野生動物が姿を現します。これらの動物の中には絶滅が心配されている種類もあるそうです。森林はこれらの動物のすみかになつていて、私には森の案内人の学習会、自然林の観察会という三度の学習会を行いました。

開発のために切り取られてしまつた結果、ブナ林は全く残っていないそうです。しかし只見に

自然が、世界遺産に認められる日がいつかくるかもしれません。

おめでとう!

町民文芸

第32回町民文芸コンクール入賞者

(敬称略)

作文部門

■小学校下学年の部

- ◎特選 酒井結咲 (只見小3年)
- ▽入選 さいとうゆう (朝日小1年)、星風吹 (朝日小3年)、角田真央 (明和小2年) ▽佳作 さとうみずず (只見小1年)、すさあい (朝日小2年)、菊地美結 (明和小3年)

■小学校上学年の部

- ◎特選 日野涼 (只見小5年)
- ▽入選 須佐萌 (朝日小5年)、増田奈歩 (朝日小6年)、馬場楓 (明和小4年) ▽佳作 馬場麻綾 (只見小4年)、田中直人 (只見小5年)、湯田美来 (明和小6年)

■中学生の部

- ▽入選 横田萌 (只見中1年)、長谷部千晶 (只見中3年)、目黒結衣香 (只見中3年) ▽佳作 渡部美咲 (只見中1年)、川合祥太郎 (只見中2年)

詩部門

■小学校下学年の部

- ▽入選 めぐろれいか (只見小1年)、すず木かずみ (朝日小

- 1年)、松下みく (朝日小2年)、菅家友香 (明和小2年)

■小学校上学年の部

- ▽入選 五十嵐菜奈 (只見小6年)、目黒健太 (朝日小6年)

■中学生の部

- ▽入選 酒井真実 (只見中2年)、三瓶麻菜 (只見中3年)
- 高校生の部
- ▽入選 横田拓人 (只見高2年)

短歌部門

■小学生の部

- ◎特選 島谷拓実 (只見小5年)
- ▽入選 田中ち里 (只見小2年)、目黒ことの (只見小2年)、星すずか (朝日小2年) ▽佳作 目黒眞子 (朝日小3年)、高木菜穂 (明和小6年)

■中学生の部

- ◎特選 新国芙真恵 (只見中3年) ▽入選 五十嵐浩佑 (只見中1年)、菅家祐有奈 (只見中2年) ▽佳作 藤田百生 (只見中1年)、黒田智文 (只見中2年)

■高校生の部

- ◎特選 酒井沙織 (只見高3年)
- ▽入選 船木結以 (只見高1年)、赤松仁美 (只見高2年) ▽佳作 目黒冬和 (只見高1年)、渡部鍊 (只見高2年)
- 一般の部
- ◎特選 目黒ミツル (只見) ▽入選 吉田六郎 (只見)、清野アサエ (只見) ▽佳作 渡部ユキ子 (下福井)、吉津久仁子 (黒谷)

俳句部門

■小学生の部

- ◎特選 すがわらゆうご (只見小1年) ▽入選 新国尚侑 (只見小6年)、鈴木拓真 (朝日小3年)、菅家ともみ (朝日小4年)、安達早希 (朝日小6年) ▽佳作 目黒史也 (只見小3年)、星拓真 (朝日小6年)、湯田美来 (明和小6年)

■中学生の部

- ◎特選 五十嵐龍 (只見中2年) ▽入選 小林康太 (只見中1年)、大竹妃菜 (只見中1年) ▽佳作 大澤宏汰 (只見中1年)、増田快 (只見中2年)、若林美緒 (只見中3年)

■高校生の部

- ▽入選 星裕也 (只見高1年)、横山剛嗣 (只見高2年)、本名麻美 (只見高2年)、赤松仁美 (只見高2年) ▽佳作 湯田瞳 (只見高1年)、船木大 (只見高3年)
- 一般の部
- ◎特選 渡部ミヤ (小川) ▽入選 守山リウコ (黒谷)、目黒富子 (黒谷)、佐藤康女 (大倉)、五十嵐邦男 (只見) ▽佳作 渡部直江 (下福井)、吉津佑 (只見)



芸術文化

おめでとう!

スポーツ
優秀選手

平成20年度芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞受賞者

(敬称略)

芸術文化賞

- ◎坂内夏海(只見小1年) 第53回福島県書きぞめ展硬筆の部書きぞめ大賞
- ◎松下みく(朝日小2年) 第54回青少年読書感想文全国コンクール読書感想文の部特選
- ◎馬場光弘(明和小6年) 平成20年度第1回朝食欠食率ゼロ週間運動「わたしが作る朝ごはんコンテスト」料理部門優秀賞
- ◎目黒丈(会津学鳳中1年) 第52回東北六県将棋大会個人戦第2位・団体戦第3位、第29回福島県アマ将棋最強者決定戦第1位、第32回朝日アマ将棋名人戦福島県大会第1位、第46回新春県選抜将棋大会県選抜位戦第1位
- ◎渡部早紀・菅家いつみ・本名未幸・吉津帆南・星真穂(朝日小5年) 第58回福島県統計グラフコンクール小学5～6年生の部福島県教育長賞
- ◎渡部実有生・加藤旭祥・吉津市・目黒紗智・五十嵐花奈恵・吉津真奈・三瓶麻菜(只見中3年) 2008東北地区中学・高校デイベート選手権中学の部第2位

スポーツ優秀選手賞

- ◎目黒郷(只見小6年) 第29回ジュニアアルペンスキー東北決勝大会GSチルドレン1部門第2位、ゼビオスポーツコンビネーションスキー大会GS小学生の部第1位、第30回福島県ジュニアアルペン公認記録会チルドレン1第2位
- ◎小椋翔(明和小6年) 第12回全会津小学生リレーカーニバル走り高跳び男子第1位
- ◎渡部宏章(只見中3年) 第56回全会津中学校陸上競技大会200m共通男子第1位
- ◎船木志穂(只見中3年) 平成20年度福島県ジュニア陸上競技選手権大会円盤投女子AB共通第3位
- ◎川合祥太郎(只見中2年) 第61回福島県総体スポーツ少年団体育大会スキー競技会GS中学2年男子の部第1位、ゼビオスポーツコンビネーションスキー大会GS中学生の部第1位
- ◎目黒岳(只見中2年) 第29回ジュニアアルペンスキー東北決勝大会GSチルドレン2第1位、ゼビオスポーツコンビネーションスキー大会SL中学生の部第1位、ゼビオスポーツコンビネーションスキー大会GS中学生の部第2位、第30回福島県ジュニアアルペン公認記録会GSチルドレン2第2位
- ◎新国健道(只見町スキークラブ) 第61回福島県総合体育大会スキー競技GS成年男子B第1位
- ◎岩佐俊祐(只見町スキークラブ) 第61回福島県総合体育大会スキー競技GS一般の部第1位
- ◎明和小学校6～4年生(湯田美来、河原田亮太、小沼拓矢、馬場光弘、馬場康平、馬場美月、山内香純、山内美咲、高木菜穂、目黒伸、小椋翔、飯塚奈央、河原田拓真、五十嵐美央、栗城琴音、渡部萌生、大竹羽未、一条英昭、吉津愛、飯塚拓巳、山内結、馬場晶子、五十嵐高弥、飯塚駿、三瓶梨菜、飯塚聖菜、五十嵐雪音、菅家琉生、馬場那央也、高田祥太、菊地唱大、河原田美咲、高木竹徳、馬場楓、栗城涼花、梁取陸、菅家成美、菊地萌花、山内尚人) 小学校クラス対抗30人31脚全国大会2008福島大会第2位
- ◎只見中学校女子卓球部Aチーム(梁取南、鈴木亜美、新国真理恵、長谷部千晶、五十嵐花奈恵、吉津真奈、目黒紗智、三瓶麻菜) 平成20年度会津総合体育大会卓球競技スポーツ少年団の部中

学女子団体第1位

- ◎只見中学校野球部2～1年生(渡部大輝、大竹大和、五十嵐大貴、川合祥太郎、佐藤翔太、三瓶志門、馬場健、渡部晃大、吉津翔大、小林祐太、目黒岳、矢澤明宏、渡部勇也、五十嵐慧、五十嵐浩佑、大澤佑汰、鈴木達也、長谷川将樹、長谷部英樹、馬場信治、横田開、渡部拓、飯塚拓真、飯塚涼、大澤宏汰、菅家将志、中野翔、馬場瞭、目黒公太郎、目黒裕次郎) 第15回福島県中学校新人野球大会軟式野球大会第1位、第15回福島県中学校新人野球大会全会津大会第1位
- ◎スターバックス(馬場秀明、酒井文高、三瓶鍊、梁取智之、日野義人、梁取正孝、馬場達也、印南正和、酒井修、横山大輔、佐藤佑介、三瓶達也、目黒貴裕、酒井俊夫) 第50回福島県早起き野球大会会津大会第1位

各賞の表彰基準

芸術文化賞の表彰基準は、全県のコンクール等で最上位、東北地方のコンクール等で上位3位相当以内、全国のコンクール等で上位5位相当以内です。

スポーツ優秀選手賞の表彰基準は、全会津の大会で1位、全県の大会で3位以内、東北地方およびそれに準ずる大会で6位以内、全国の大会で10位以内です。

朝日診療所が新体制となりました。

4月より常勤医師3名が確保され、さらに毎週月・火曜日は
 医師4名での診療体制となりました。今年度より1診は午後
 も予約による外来診療を行いますので、是非ご利用ください。

昨年と同様に月2回(第1・第3木曜日)の整形外科外来は継続して行います。訪問診療も、在宅介護をされるご家族に不安がないように地域包括支援センターや居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションと連携して実施していきます。

歯科診療は、従前のおりの
 (医科84・2221・歯科84・2612)

また、住民の皆様のご協力をいただきながら、学生・研修医教育にも力を入れていきますのでよろしくお願いいたします。

診療所玄関に「ご意見箱」を設置しましたので、ご意見、ご要望等、住民の皆さんの声をお聞かせください。

〈医師紹介〉



所長 佐竹秀一

○出身大学：自治医科大学
 ○専門：外科・救急医療・内科(田舎)



星野弘尊

○出身大学：自治医科大学
 ○前任地：自治医大さいたま医療センター



高柳宏史

○出身大学：北里大学

○前任地：福島県立三春病院
 ○専門：地域・家庭医療



葛西龍樹

○福島県立医科大学 地域・家庭医療部教授
 (毎週月・火曜日診察)

〈歯科医師紹介〉



鈴木聡太郎

○出身大学：日本歯科大学
 ○専門：一般歯科・小児歯科・矯正歯科

八巻俊彦前診療所長に感謝状



平成15年12月、医師不在となった朝日診療所に着任し、今年3月まで精力的に地域医療の確立のために尽くされた八巻俊彦前朝日診療所長に町から感謝状が贈られました。

贈呈式は3月定例議会中の3月19日、議場で行われ、目黒吉久町長から感謝状が手渡されました。

こんにちは、診療所の佐竹秀一です。今回は皆さんにお知らせを兼ねて話をさせてもらいます。この4月よりようやく医師3人体制が確保できました。今まで医師不足等により十分な医療が提供できなかったこと、心よりお詫び申し上げます。

広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 佐竹秀一

現在、日本の人口における医師数は全国平均で10万人当たり220人(厚生労働省)であり、これを只見町に当てはめると約11人ということになります。数字上ですがまだまだ少ない状況です。

診療施設の設備の関係・扱う科が多岐にわたるなどのため、大病院のような専門的な治療はできませんが、専門医紹介までの適切な判断・救急疾患の対応に力を入れ、職員一同、皆さん

また、今年度よりこの広報に閉じましては、皆さんに医療知識を深めてもらい、安心して生活ができることを目的とした、病気がけがについて「ためになる」マメ知識形式とさせていただきます。

3か月に1回だったのを毎月にしてもらいましたので、少しでも多くの知識を私達と共有しましょう。内容に関しては、常勤医師3人の持ち回りとするので、偏ったものにならないように配慮していきます。それでは、来月以降にご期待ください！

只見町の予算です

◆ 厳しい財源の有効活用に向けて 選択的な事業展開を

只見町の平成二十一年度予算が決定しました。町税収入の推移や交付税制度改革、国からの補助金・交付金等の見直しを踏まえ、義務的経費を極力抑制し、投資的経費でも財源の重点的かつ効率的な配分を図る予算編成となっています。

一般会計の予算規模は三十八億三、〇〇〇万円となり、前年度対比五、〇〇〇万円の減、伸率△一・三%減となっています。

また、特別会計は、会計数が十三会計となり、その合計額は二十三億四、〇八〇万円です。一般会計と合わせた平成二十一年度予算総額は六十一億七、〇八〇万円です。厳しさを増す財政状況を踏まえ、町の台所事情に合わせた「思い切った行財政改革」と「住民協働」による選択的な事業展開を推進します。

◆ 一般会計 歳入

予算の内容を見てみましょう。歳入のトップは、「依存財源」(国や県から入るお金)に含まれる地方交付税で、歳入全体の四八・八%を占め、前年度に比べて五〇〇万円の減額を見込んでいます。譲与税交付金については、前年度比一、六三二万七千円の減額を見込んでいます。

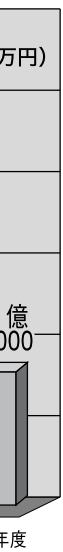
また、「自主財源」(町が独自に確保にできるお金)では、町税が歳入全体の二五・五%で、前年度に比べて二、九四万五千円の減額となり、厳しい予算編成を余儀なくされています。

◆ 一般会計 歳出

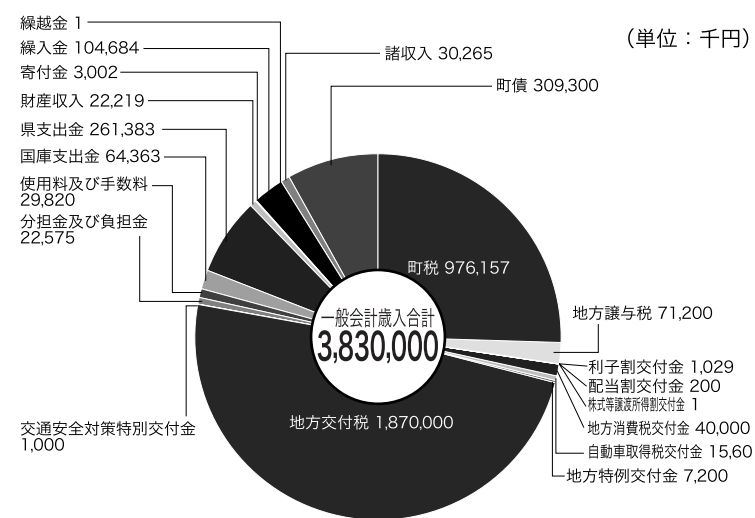
歳出は、公債費の占める割合が二〇・九%と最も高くなっています。これは、町が借り入れられているお金の返済に充てられるものです。今年度は、臨時財政対策債の内、一億六、二六〇万四千円の繰上償還を行うために伸びました。

次に総務費の占める割合が一八・四%となっています。前年度の移動用通信铁塔施設整備等の完了により減額となったものの、電源立地地域対策交付金事業基金積立金、衆議院議員選挙費の伸びによるです。続いて、民生費、農林水産業費、衛生費、教育費、土木費、消防費、商工費の順となっています。農林水産業費の増は、里山エリア再生交付金事業、交流施設特別会計繰出金の増が主な要因です。労働費の増は、町単緊急雇用対策事業の増によるものです。

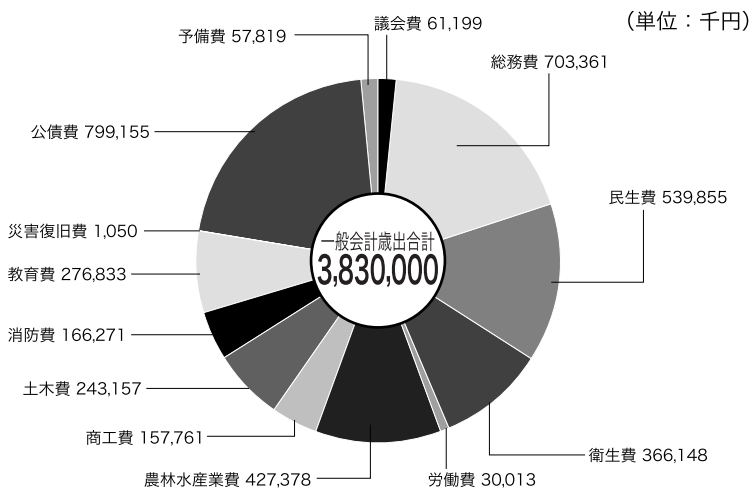
また、教育費の減は、明和小学校関連の施設整備の減、土木費の減は、道路新設改良費の減が主な要因となっています。



3,000万円



項目	21年度	構成比	20年度	増減率
町税	976,157	25.5%	1,005,602	-2.9%
地方譲与税	71,200	1.9%	75,941	-6.2%
利子割交付金	1,029	0.0%	910	13.1%
配当割交付金	200	0.0%	450	-55.6%
株式等譲渡所得割交付金	1	0.0%	1	0.0%
地方消費税交付金	40,000	1.0%	46,000	-13.0%
自動車取得税交付金	15,601	0.4%	25,650	-39.2%
地方特例交付金	7,200	0.2%	2,341	207.6%
地方交付税	1,870,000	48.8%	1,875,000	-0.3%
交通安全対策特別交付金	1,000	0.0%	1,265	-20.9%
分担金及び負担金	22,575	0.6%	23,347	-3.3%
使用料及び手数料	29,820	0.8%	28,885	3.2%
国庫支出金	64,363	1.7%	86,407	-25.5%
県支出金	261,383	6.8%	287,193	-9.0%
財産収入	22,219	0.6%	21,602	2.9%
寄付金	3,002	0.1%	3,001	0.0%
繰入金	104,684	2.7%	33,876	209.0%
繰越金	1	0.0%	1	0.0%
諸収入	30,265	0.8%	56,228	-46.2%
町債	309,300	8.1%	306,300	1.0%
歳入合計	3,830,000	100.0%	3,880,000	-1.3%



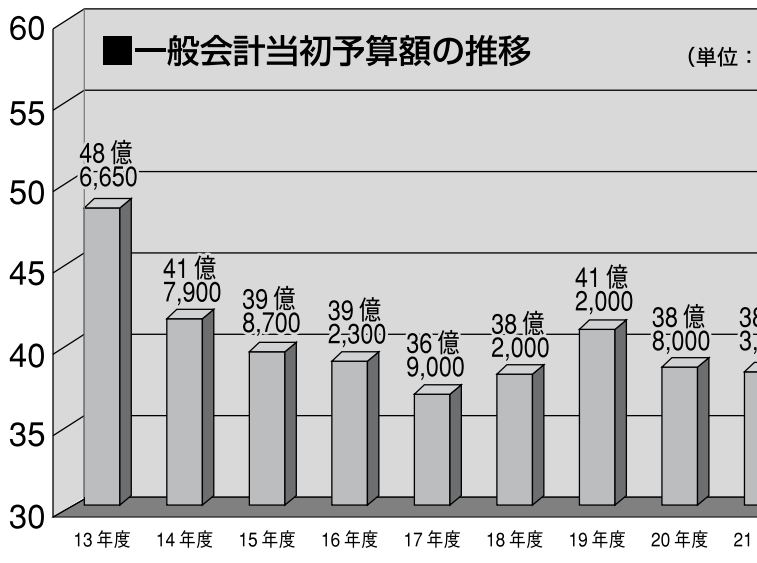
項目	21年度	構成比	20年度	増減率
議会費	61,199	1.6%	65,069	-5.9%
総務費	703,361	18.4%	824,267	-14.7%
民生費	539,855	14.1%	601,366	-10.2%
衛生費	366,148	9.6%	382,652	-4.3%
労働費	30,013	0.8%	13	230769.2%
農林水産業費	427,378	11.2%	342,856	24.7%
商工費	157,761	4.1%	176,336	-10.5%
土木費	243,157	6.3%	290,039	-16.2%
消防費	166,271	4.3%	172,803	-3.8%
教育費	276,833	7.2%	313,928	-11.8%
災害復旧費	1,050	0.0%	1,050	0.0%
公債費	799,155	20.9%	666,963	19.8%
予備費	57,819	1.5%	42,658	35.5%
歳出合計	3,830,000	100.0%	3,880,000	-1.3%

平成21年度の主な事業

■住民と行政が協働するまちづくり	
□集落・地区センターなど住民交流を主体とした地域づくり	2,032万円 まちづくり推進事業（3地区センター） 450万円 町づくり事業補助金（3地区センター）
□総合的な土地利用・交通体系の確立	1,893万円 新多目的交通システム運営補助金
■自然に感謝するまちづくり	
□自然保護意識の醸成	330万円 プナセンター推進事業
□雪と共存するまちづくり	9,623万円 町道・歩道除排雪経費 1,150万円 雪まつり実行委員会補助金
□水環境の保全と上下水道の整備	2,272万円 合併処理浄化槽設置補助金（24基）
□環境衛生の充実	1億2,794万円 西部環境衛生組合負担金
□自然と調和した地域イメージに合った景観づくり	2,205万円 地域住宅交付金事業（空家住宅改修外）
□道路網の整備	7,781万円 町道改良、町道補修事業 528万円 橋梁長寿命化計画策定事業
■保健・医療・福祉が一体となった元気なまちづくり	
□健康でいきいきと暮らせるまちづくり	1,189万円 各種検診事業（特定健診、各種がん検診等）
□安心して子どもを生み育てられるまちづくり	191万円 地域の子育て応援交付金事業 550万円 未就学児の医療費無料化事業 100万円 義務教育児童生徒入院医療費無料化事業
□高齢者・障がい者福祉の充実と元気づくりの推進	111万円 地域福祉計画策定事業 113万円 療育児童通院交通費給付費
□安心できる暮らしづくり	1億2,611万円 南会津広域市町村圏組合消防費負担金 3,006万円 非常備消防費（消防団経費） 840万円 ふるさと雇用再生特別基金事業 1,000万円 緊急雇用創出基金事業 3,000万円 町単緊急雇用対策事業
■新たな産業と循環型社会を構築するまちづくり	
□誇りが持てる農業の振興	2,055万円 中山間地等直接支払事業補助金 1,950万円 県営中山間地域総合整備事業負担金 163万円 戦略的産地づくり総合支援事業
□豊かな森林を活かした林業の振興	733万円 森林環境交付金事業（森林整備） 1,658万円 里山エリア再生交付金事業（林道整備） 1,181万円 里山エリア再生交付金事業（貯水槽整備） 900万円 県営ふるさと林道緊急整備事業負担金（楮戸橋）
□活力ある商工業の振興	500万円 只見町商工会補助金
□特色を活かした魅力ある観光の振興	6,877万円 季の郷湯ら里空調システム改修事業 740万円 只見町観光まちづくり協会補助金
■教育、文化を大切にすまちづくり	
□地域文化の振興（人の技・物・食の伝承）	329万円 埋蔵文化財調査事業（要害山、小林地区） 306万円 中学校閉校記念沿革誌編纂事業
□次世代を担う子どもたちの教育の充実	1,533万円 朝日小学校ランチルーム整備事業 872万円 只見高校振興対策補助金
□生涯スポーツ・レクリエーションの推進	370万円 只見町体育協会補助金

■特別会計予算 (単位：千円)

会計区分	21年度	20年度	増減率
国民健康保険事業特別会計	575,000	560,000	2.7%
国民健康保険施設特別会計	355,000	344,000	3.2%
老人保健特別会計	2,000	88,000	-97.7%
後期高齢者医療特別会計	121,000	106,000	14.2%
介護保険事業特別会計	545,000	507,000	7.5%
介護老人保健施設特別会計	234,000	244,500	-4.3%
訪問看護ステーション特別会計	22,000	21,500	2.3%
地域包括支援センター特別会計	10,000	9,800	2.0%
簡易水道特別会計	98,000	126,000	-22.2%
観光施設事業特別会計	33,000	28,000	17.9%
交流施設特別会計	110,000	37,000	197.3%
集落排水事業特別会計	227,000	320,000	-29.1%
朝日財産区特別会計	8,800	9,100	-3.3%
合計	2,340,800	2,400,900	-2.5%



一般会計 予算総額 **38億3,000万円**



■町税の内訳

町民税	1億5,485万1千円
固定資産税	7億8,373万1千円
軽自動車税	1,029万8千円
町たばこ税	2,210万0千円
入湯税	517万7千円

町民一人あたりにすると（3月1日現在人口）……5,218人
 ■一般会計支出額（使われるお金の額）……733,998円
 ■町税負担額（納めていただくお金の額）……187,075円

▼ フェスタはただみコミュニティークラブが主催



ゲストと一緒に雪をエンジョイ

3月14日・15日湯ら里イベント会場で開かれたフェスタで、雪上バレーボール大会、クロスカントリースプリントレースが繰り広げられました。

8チームが参加したバレー大会にゲストで参加した蔭山弘道さん（ソウル五輪バレーボール出場）は「楽しい。初めての人でもバレーの楽しさがわかり、好きになる。夏のビーチバレーはよく知られていますが、雪上バレー大会が只見発祥のビックイベントになればいいですね」と話していました。

▼ オツネトンボ（写真上）を発見した場所で若林さん（写真下）



只見 冬を越すトンボ オツネトンボ 見の雪の中でもトンボは生きている

3月12日、若林保夫さん（只見）が前日に降った雪を片付けて、水をあげようと植木を見ると、生きたトンボが枝に止まっていました。トンボは九州北部から北海道に生息地している「オツネトンボ」で、冬を越す「越冬」から名前が由来しているそうです。8月頃池で羽化し、成虫のまま木のすき間や落ち葉の下、家の中で越冬します。トンボは若林さんの手で元の場所に戻され、じっと春を待っています。

目 全国小学生アルペンスキー大会 黒郷くん(只見小6年)が優勝



▲ 優勝し表彰台上立つ目黒くん（写真左）

3月24日岩手県安比スキー場で開かれた第3回全国小学生アルペンスキー大会小学6年生男子の部で、目黒郷くんが優勝しました。また目黒くんは、3月20日長野県で開かれたアトミックジュニアカップ本州決勝大会男子大回転でも2位に入賞しています。今年の夏休みはニュージーランドスキーキャンプに参加し、さらに技術を磨くそうです。

直 明和わくわく倶楽部が研修 江兼続ゆかりの史跡めぐり

3月19日、明和地区の高齢者でつくる明和わくわく倶楽部の25人が、直江兼続ゆかりの地山形県米沢市で史跡をめぐり、研修しました。上杉神社を参拝し直江兼続のかぶとの展示を見たり、上杉博物館で「天地人博2009」企画展を見学したりしました。倶楽部は情報交換と親睦を目的に昨年9月に発足。これからも健康的なライフスタイルや生きがいづくりのため、研修会や講習会を開催する予定です。



▲ 愛と義に生きた兼継の足跡をたどった研修

▼ 地域の子どもの笑顔のために力を合わせた



90 明和小学校引っ越し 人のボランティアが大活躍

地域の小学校の引越しまかせる。新しくなった明和小学校への引っ越しが、3月22日に行われ明和地区の老人会、婦人会、小PTA会員ら約90人のボランティアが参加しました。机、椅子、棚などの移動や、物品の整理をしました。この日のための荷造りも多くのボランティアが作業しました。地域と学校と家庭がしっかり手を取り合った、見事な引っ越しでした。

▼ 圓生襲名が期待される実力派、鳳楽師匠



笑 第4回湯ら里寄席 三遊亭鳳楽独演会 いあり、そして人情話にホロリ

春は、湯ら里で寄席を聞くことが恒例という方が増えています。今年の湯ら里寄席は、3月15日に開かれ、約200人が三遊亭鳳楽独演会を楽しみました。演目は「目薬」「半分垢」のこっけい話と、人情話「文七元結」。お腹を抱えて笑った後に、しみりとした人情話を聞いた観衆は、落語の奥深さと鳳楽師匠の円熟の話芸に酔いしれていました。

18 町公認自然ガイドインストラクター養成講座 人に修了証書授与

平成19年7月30日から始まったガイド養成講座の8回目となる最終講義が3月14日、只見地区センターで開かれました。講義修了後、修了証書授与式が行われ、目黒吉久町長から18人一人ひとりに証書が手渡されました。目黒町長はあいさつで「豊富な知識でのガイドはもちろん、自然を生かした都市との交流や、自然と私たちのかかわりあいに道筋をつけてください」と期待を述べました。



▲ 修了生の活躍が楽しみです。

友 保育所で修了式 達を大切に色んなことを学んでね

3月26日、町内の3保育所で修了式が行われました。朝日保育所では、渡部千重子所長から児童19人一人ひとりに保育証書が手渡されました。児童は自分の名前が呼ばれると大きな声で返事し、元気よく受け取っていました。渡部所長は「丈夫な身体、やさしい心で、小学生になっても友達を大切に、色んなことを学んでください」とあいさつしました。



▲ 元気な声で証書をもらう朝日保育所児童



3月13日、私は只見中学校の3年生の卒業式に出席しました。3年生と授業と一緒にいるのが楽しかったのですが、彼らが去っていくのを見るのは悲しかったです。彼らは活発で、愉快な生徒たちでした。きつとこれからも楽しみ、一生懸命勉強し望みがかなくことでしょうね。ほとんどの生徒が只見高校に行き、何人かは遠くの学校に行きます。全力を尽くしてがんばってください。そしてたまには只見中学校に来てほしいです。



福島のほとんどの英語指導助手たちは、今シーズン最後のスノーボードを大いに楽しんでいます。今月中旬に、私たちみんなな猪苗代スキー場集まり、そこで「ボクサーラン」をしました。でも私は2シーズン、スキーやスノーボードをやった人ほどは早くなかったので参加しませんでした。もしやっつければきつとスロープ下まで凍り付いてしまった事でしょう。というのは、この「ボクサーラン」は下着だけでスロープをスノーボードやスキーで降りるのです。そうなんです、ほとんどの英語指導助手はかなりおかしいと思います。彼らは頂上で服を脱ぎ、それをボードバッグに入れて友達が持つて滑りました。頂上では下着一枚の彼らを撮影する撮影隊がいました。実際にテレビで放映された

かは私にはわかりませんが。

先週末には私の友達がやってきて南郷スキー場に行きました。友達はいへんうまく、今では自分たちの技やジャンプの練習をしています。友達はスノーボードというより体のあちこちで着地している姿を見て、なかなかやるものだと思います。

来月末には私の両親が日本にやってきます。彼らに9ヶ月も会っていないので今から楽しみにしています。両親は日本に来るのを楽しみにしていますが、ちよつと不安でもあるようです。30日も外国で過ごしたことはなく、これまで習慣や生活様式がイギリスのものとはほとんど似かよったヨーロッパの国々にしか行ったことがないので。今回は、自分たちが慣れているものと全く違う文化や生活様式のある国に、はるばる来ることになるのです。でも、きつと素晴らしい時を過ごし、他の国へも行きたくなるきつかけとなる事でしょう。

只見町の皆さんは、私もそうですが、雪解けを楽しみ暖かい季節がやってくるのを待ち望んでいる事でしょう。

(訳・只見中池上)

あったかい只見の男性

第10回出逢いふれあいフェスタ

NPO法人ふれあい交流
縁結び隊事務局報告

スノーキッドル会

今回は、只見から離れてディズニースー・お台場で、ふれあい交流会(2月21日・22日)を開催しました。只見の男性18名と、県内女性12名、首都圏女性6名が参加しました。

最近「婚活」という言葉があふれているせいなのか、今回はあつという間に女性が定員に達する驚きの状況でした。できるなら福島県内の女性に多く参加していただきたいという希望もかなって、大型バスにいっぱい的人数でわいわい楽しみました。

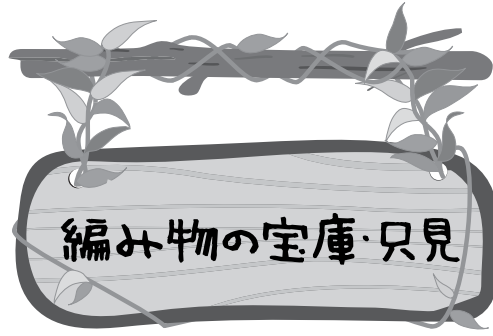
2時間の交流会の盛り上がりは、見ているだけで楽しい・・・終了後はアドレス交換。最終的には6カップル誕生することができました。第一歩のスタートです。温かく見守りたいと思います。

終了後、カップルにならなかった女性と話してみると、「電話でお話させていただいています。」とか、「田舎の男性って、温かくこ～んな感じなんだあ～。ほっとします。」など嬉しい言葉が返ってきました。アンケートでは、楽しかった95%。また参加したいが大半を占める結果となりました。

次は、6月20日(土)～21日(日)に裏磐梯で企画。お相手は福島県内の女性。ゴンドラに乗ってデコ平を歩いたり、陶芸体験、五色沼を歩きたいと思います。



(事務局：目黒典子)



編み物の宝庫・只見

只見町は、編み物の文化が発達した特異な地で編み物の宝庫といえます。マタタビやアケビ、ヤマブドウなどの蔓を用いたもの、シナノキやウリハダカエダなどの樹皮を用いたもの、根曲がり竹を用いたもの、稲ワラやイワシバなどの野草を用いたもの等、素材だけを見ても多種にわたっています。また、編まれたものをつとて見てもザル・籠の類はもとより、背負い籠や袋の類、俵やムシロなど、あるいは帽子、蓑、ワラ沓など実に様々なものがあります。

多種多様な編み物が生み出された背景には、冬が長く、しかも深い雪に閉ざされること、真竹が自生していないこと等只見町の持つ独特な自然があります。冬が長く、深い雪に閉ざされるということは、室内での作業に適した編み物をする時間が取れ、その上湿度が高くワラ細工に適しているということが言えます。また、真竹が自生しないということは、真竹に代わる編み材を求めざるを得ず、その結果、マタタビ、アケビ、ヤマブドウなど多種にわたる素材の利用が促

されました。

只見町の編み物は、生活上必要に迫られ、利用者自らの手で作られてきたものです。したがって各自が材料の採取にも当たらなければなりません。各材料には、材料なりに生育する場所



マタタビ細工に励む故郷家丑五郎さん

があり、また、いつ採取したならば最良の材料を得ることができるといった採取の時期があります。例えばマタタビやアケビは、山裾に自生します。採取の時期は、葉が枯れ落ち、しかも雪が降る前が最適となります。

ヤマブドウやシナノキの樹皮は、木質部が盛んに水を吸い上げ皮が剥ぎやすくなる梅雨時となります。根曲がり竹は、雪が多い奥山に自生するので、採取は容易ではありません。イワシバの類は、じめじめした岩の多い斜面に自生し、秋の彼岸頃が採取時期となります。このように只見町の人たちは、編み材を、いつ、どこで、どのように採取したらよいかということを知りたてなければなりません。しかもこうした細かな事柄を、ノートなどに記録することなく、頭の中にすっきり記憶していたというから驚きです。

こうして採取した材料は、編み物の季節になるまで保存します。この保存の方法にも材料によつて違いがみられます。マタタビは、母屋などの屋根裏で保管し、編み物の時期近くになると池に浸し水分を十分吸収させます。イワシバの場合は、採取してきたものを一握りほどの束にして納屋の天井などに吊るして陰干しします。また、イワシバや稲ワラなどの草の類は、樾で

たたき柔らかくしてから編み始めます。

イワシバやガバで編んだ物は、最後の段階として雪さらしや水さらしを施されます。雪さらしは、日差しの強くなった春先に母屋の軒差に吊るし、あるいは直接雪の上においてさらします。水さらしは、池の中に浸してさらします。こうしたさらしの工程を経たものは、夏になつてもかびることがないといわれています。オゾンの効果とも紫外線による殺菌効果ともいわれますが、長い間雪の中で暮らしてきた只見町の人々ならではの生活の知恵といえます。

近年、編み物の素材が化学繊維に変えられたり、編み物を行う人が少なくなったり、編み物そのものが使われなくなっています。自然素材は、取りすぎさえしなければ永久に採取できるものであり、自然素材で編んだ物は、廃棄後も地球環境にやさしいものばかりです。今こそ只見町の編み物文化を見直すべき時だと思います。



町民文芸

只見短歌会 二月詠草

大塚栄一 指導

古川 英子

夫看取り起きるる友か部屋の灯に雪積む夜半の障子明るし

齊藤ちひろ

無差別に物捨てれば勿体なし戦前戦後を生き来し我は

吉津 政枝

年々に夫子の年忌の供養なし来し方偲びわれも老いゆく

渡部ゆき子

民謡の東北大会出場とふ孫の電話に耳を疑ふ

皆川 恒子

雪まつりの雪像作る生徒らに年ごと多くのカレーライス作る

五十嵐英子

老いし身を労りくるる介護士らに頼りて早も三か月過ぐ

目黒 富子

積木手に眠りてあるを炬燵辺に引き寄せてゆく孫軟らかし

馬場 八智

在りし日に姑がつきて来し杖を雪道歩むわが頼りとす

五十嵐夏美

凍てしるき朝降る雨に濡れてゆく路上滑りて小股に歩む

渡部ヨリ子

正月に帰省して来し子ら送り多き食器を一人片付く

新国 洋子

入所せし姉の空家の冷蔵庫ひと日かかりて姪と整理す

(出詠順)

只見俳句会 三月例会

目黒十一 指導

邦 夫

堅雪や無人駅まで曲りなく

冴え返る又冴え返るダムの村

康 女

永らいて傘寿の春を迎えけり

試着して買わずに帰る春の服

リウコ

裁ち方もおぼろと成りし細もんぺ

吹雪の日毛糸を編めば氣の和み

都

墨液の走る一の字春を待つ

雪まつり赤い鼻緒の列になる

一 穂

薪くべて今日の一日始まりぬ

洋 子

爺様にもバレンタインの贈り物

福寿草開かんとしてシャッター音

雪崩音言うべき事も言えぬまま

敦 子

雪野原一直線にけもの跡

郁 子

掘割の水音高し春の午後

年重ね話果てなき冬の宿

礼

暖かしぶらりと出向く古書の街

流木のほむらやさしき暖炉かな

一 灯

鉄塔の山ゆさぶりにて春のへり

春雨や横に滴る板廂

又壺歩

胼割れの手に沁む朝の手水かな

足を病み春の日遅々と治り遅々

邦 男

雪国に雪積もらねば笑われず

如月や円柱囲む談話室

吉 児

門毎に国旗耀う大旦

旭日に向かいて喉の寒稽古

隆 堂

川岸の水に踊りて猫柳

南部鉄瓶湯気たてている雨水かな

恒 夫

春疾風閉校の窓吹き鳴らし

初ものの落味喰うて笑いけり

としよりは涙脆きよ兎汁

瀬戸内の海の真風ぎや初日の出

笑羊

お知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
企画班	☎82-5210
町民生活課	☎82-5220
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-8120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221
訪問看護ステーション	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2130
保健福祉センター	☎84-2101
只見地区センター	☎84-7005
朝日地区センター	☎82-2141
明和地区センター	☎84-2111
	☎86-2111

AWARDS

表彰

消防庁長官表彰

町消防団の本名誠副団長(黒谷)が、平成20年度永年勤続功労章を受章しました。本名副団長は昭和53年に町消防団に入団以来、30年間にわたって地域の消防活動に真剣に取り組んできた功績が認められました。



3月19日伝達式で本名副団長(左)

LIFE

生活

プレミアム付き商品券の発行

只見町商工会では、国の定額給付金の支給にあわせ、地元消費拡大と地域経済の活性化を図るため、プレミアム付き商品券を発行します。

1万円で1万1千円分の商品券を購入でき、町内全業種の加盟店で使用することができます。4月12日から、商工会、朝日地区センター、明和地区センターの3カ所で、一斉に発売します。ただし、発行数量及び一世帯あたりの購入に制限があります。

▼問い合わせ
只見町商工会
☎82-2380

お買い物は

マイバッグで

皆さんが日常の買い物で使っているレジ袋。このレジ袋にも多くの資源やエネルギーが使用されています。

レジ袋を無駄に使わないための無料配布中止(有料化)の取り組みは、環境への負荷を軽減するライフスタイルへの見直しのきっかけとして、全国的に取組みが拡大しています。福島県内においても、6月1日(月)から、多くのレジ袋を使用する大規模食品スーパー等でその取組みが開始されます。

レジ袋をゴミ袋として再利用する方や、お出かけ先でのゴミ持ち帰り袋として利用している方もいらつしやると思いますが、「無料だから受け取る」というこれまでの取り扱いを見直し、「必要がある時に必要な分だけ利用する」という意識でレジ袋

税 今月の納期

4月27日までに納めましょう

- ・固定資産税(1期)
- ・農集排使用料(4月分)

の削減にご協力をお願いいたします。マイバッグを持って出かけましょう!

▼6月1日からレジ袋無料配布中止を実施する主な店舗

- ・(株)ヨークベニマル
- ・(株)リオン・ドールコーポレーション
- ・生活協同組合コープあいつ
- ・イオンリテール(株)(ジャスコ、マックスバリュ、サティ、イオンスーパーセンター)
- ・(株)ユニー(アピタ)
- ・(株)イトーヨーカドー

※実施事業者については現在調整中のため増減の可能性あり。

▼問い合わせ 町環境整備課生活環境班 ☎82-5280

銃砲刀剣類

登録審査会

▼平成21年度審査会日程

- ・第1回 5/14(木) いわき合同庁舎南分庁舎3階大会議室

室(刀剣類のみ審査)

- ・第2回 7/3(金) 労働福祉会館(郡山市)2階中ホール(銃砲類・刀剣類審査)
- ・第3回 9/25(金) 会津若松合同庁舎2階大会議室(刀剣類のみ審査)
- ・第4回 11/13(金) 労働福祉会館(郡山市)2階中ホール(刀剣類のみ審査)
- ・第5回 1/20(水) 福島県庁会議室(刀剣類のみ審査)
- ・第6回 2/25(木) 労働福祉会館(郡山市)2階中ホール(銃砲類・刀剣類審査)

▼審査時間 午前10時～正午 午後1時～午後3時

▼銃砲類の登録審査 第2回と第6回の2回のみ。これ以外では審査できません。

▼問い合わせ
県教育庁文化財課
☎024-521-7787

家電リサイクル法 改正

平成13年に施行された家電リサイクル法の政令が改正され、4月1日より、新たに液晶テレビ・プラズマテレビ、衣類乾燥機が対象機器に追加されました。使用済みとなったこれらの製品を廃棄する際には、これまでの家電4品目（ブラウン管テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機）と同様に、リサイクル料金を支払い、小売店に引き渡すこととなります。

▼問い合わせ 環境整備課生活環境班 ☎82-5280

多重債務で お悩みの方へ

福島財務事務所では、自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱えお悩みの方々からの相談に応じています。相談者の抱える借金の状況等をお聞きすると共に必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。

相談は無料です。まずはお電話ください。

▼福島財務事務所

☎024-535-0303

▼受付時間

平日 午前8時半～午後5時
15分（土・日、祝日、年末年始はお休み）

携帯電話サービス開始 塩ノ岐地区と黒谷入地区

携帯電話の利用可能な地域を拡大し、地域内の情報通信格差を是正するため、平成14年度から町において携帯電話の基地局整備を行っております。今年度は、塩ノ岐地区と黒谷入地区で事業を実施し、携帯電話サービスが利用できるようになりました。

▼問い合わせ 総務企画課企画班 ☎82-5220



塩ノ岐地区鉄塔は「電源立地地域対策交付金」により整備された。

町長室日誌

〈3月分〉

- 1日 只見高等学校卒業証書授与式
- 2日 へき地医療支援総合調整会議
2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会開会式、ウェルカムパーティ
- 3日 神奈川大学佐野教授外来庁、庁議
- 4日 「こまどり会」懇談会、議会全員協議会
- 5日 交通死亡事故無事故2000日達成表彰伝達式、西部環境衛生組合議会
- 6日 雪まつりミニ雪像コンテスト、文化財調査委員会
- 8日 八十里越フォーラム
- 9日 産業おこし推進本部会議、庁議
- 11日 3月定例議会開会（～19日）
- 13日 只見中学校卒業証書授与式
- 14日 第32回只見町文芸コンクール表彰式及び芸術文化賞並びにスポーツ優秀選手賞表彰式、町公認自然ガイド・インストラクター養成講座修了証授与式
- 15日 奥会津講演会
- 16日 南会津振興局長来庁
- 17日 猪苗代町長来庁
- 19日 雪まつりミニ雪像コンテスト表彰式
- 21日 平成20年度只見川電源流域振興協議会「子ども聞き書き事業」発表会
- 22日 名誉町民「皆川雅舟」先生県文化功労賞受賞祝賀会
- 23日 只見・朝日・明和小学校卒業証書授与式、只見川電源流域振興協議会第三回委員会
- 24日 町農業振興協議会
- 26日 社会福祉法人南会津会理事会、只見高等学校送別会
- 29日 平成21年只見婦人会定期総会
- 30日 只見町土地改良区第3回理事会及び第29回通常総代会
- 31日 退職者離任式、陸上自衛隊郡山駐屯地第三大隊長来庁、(株)会津ただみ振興公社臨時株主総会、観光まちづくり協会役員来庁

菅家三雄副町長退任



只見町副町長として平成17年4月1日から町政運営に尽力された菅家三雄氏が、3月31日をもって任期満了で退任されました。

佐藤克彦教育長退任



只見町教育長として平成17年4月1日から町教育振興に努められた佐藤克彦氏が、3月31日をもって任期満了で退任されました。

町職員の新規採用・退職

■新規採用町職員（4月1日付）

- ▽朝日診療所医師兼介護老人保健施設施設長 高柳宏史
- ▽教育委員会学校教育班兼生涯学習班 渡部順三
- ▽町民生活課町民班 渡部圭
- ▽町民生活課税務班 五十嵐亮
- ▽明和保育所 木津弘典
- ▽朝日保育所 渡部亜耶佳

■退職町職員（3月31日付）

- ▽馬場敏行（総務企画課）
- ▽飯塚春夫（会計室）
- ▽佐藤性子（朝日保育所）
- ▽矢沢千代（明和保育所）

■福島県派遣職員（4月1日付）

- ▽福島県へ復帰 寺岡英裕（産業振興課）
- ▽只見町へ派遣 星野弘尊（朝日診療所医師）
- 二階堂陽介（産業振興課）

町民の消息

(3月1日～3月31日届出分) 掲載

■お誕生おめでとうございます

舟木 爽真 (男/ 努・希) 小林
五十嵐 愛莉 (女/ 裕樹・まき) 蒲生

■おくやみ申し上げます

吉津 俊三	63才	長浜
國分 トキイ	64才	只見
馬場 コノエ	85才	蒲生
難波 俊介	22才	只見
横山 岩子	86才	長浜
須佐 守	77才	蒲生
馬場 房子	87才	小川
齋藤 達雄	85才	亀岡
五十嵐 安夫	85才	蒲生
諏佐 イツコ	85才	梁取

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成21年3月1日現在

人口	5,088	(-2)
男	2,421	(-1)
女	2,667	(-1)
世帯数	1,898	(+2)
高齢化率	41.2%	

※高齢化率とは、65歳以上の方が人口に占める割合です。

転入 3 転出 4 出生 4 死亡 5

あとがき

▽町民芸文コンクールの入選作品に、私の心に響いた小学生の詩がありました。作品は、私たちが当たり前と思っている只見の自然のすばらしさを気付かせてくれるものでした。▽今月号で二年間の広報担当を終えます。ご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。▽もつと心に響き、何かが伝わる広報誌でありたかったと思っています。▽これからも広報ただみをよろしくお願いたします。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

五十嵐貴則主査

只見地区センター
図書室 ☎82-2141

おすすめ新着図書

★シューカツ!



石田衣良/著 (文藝春秋)

元気で真面目な水越元晴は、鷺田大学3年生。このたび、学内の仲間たちと「シューカツ・プロジェクトチーム」を結成した。夢のマスコミ就職に向けて、目標は全員合格。クールなリーダー・

富塚圭、準ミスの佐々木恵理子、女性誌志望の犬山伸子、理論派のメガネ男子・倉本比呂氏、体育会柔道部の小柳真一郎、そしてナンパなテニスサークル副部長・菊田良弘。読めば誰もがもう1度就職活動をしたくなる(?)、ど真ん中の青春小説です。

★生き残る男の条件



ますい志保/著

(青春出版社)

1万人以上の有名政財界人と10年以上にわたって接してきた銀座ママが、その経験から初めて綴った3年後に花が開く男のなり方、見抜き方。

フォトコンテスト入賞作品



最優秀賞

平成20年度
六十里越雪わり街道フォトコンテスト
「若葉輝く」 萩野谷泰伸(茨城県)



只見町長賞

第37回只見ふるさとの雪まつりフォトコンテスト
「最高一!!」 松沼 貞夫(栃木県鹿沼市)

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

イベントカレンダー

4月

- 11日(土) 「河井継之助記念館オープン」
- 21日(火) 「会津只見考古館オープン」
- 24日(金) 「J-POWER只見展示館オープン」
- 25日(土) 「歳時記会館オープン」
- 「田子倉レークビューオープン」
- 「六十里越雪わり街道再開通式」
- …田子倉レークビュー

5月

- 26日(日) 「要害山トレッキング」
- 1日(金) 「青少年旅行村いこいの森オープン」
- 「只見そば道場オープン」 ※要予約
- 3、4、5日(祝) 「風つこ会津只見号運行 会津若松一只見」
- 23、24日(土、日) 「SL会津只見新緑号運行 会津若松一只見」

▼5月3日(祝)より、ひんのめえ市をはじめます。皆さんも出品してみませんか。詳しくはお問い合わせ下さい。

▼問い合わせ

只見町観光まちづくり協会
☎82-5250
営業時間 午前8時半～午後6時